

# 市政を問う!!

## 一般質問の要旨

質問者

中村 努

宮田 伸子

森川 雄三

鈴木 明子

永井 泰仁

務台 昭

青木 博文

※本文は質問者自身の原稿によるものです

### 有害鳥獣 対策に どう取り組む

#### ◆有害鳥獣対策

**問** 新規の猟銃免許取得者の状況は。(森川)

**答** 近年減少しているが、今年4名が取得した。

**問** 狩猟免許取得者の減少は、将来の個体調整に課題となる。職員の猟銃免許取得の考えはないか。(森川)

**答** 職員でなく専門的な分野として有資格者に対応を願う。

**問** 猟友会への補助制度また狩猟期間の延長として、銃による狩猟も合わせ関係機関へ働きかけを。(森川)

**答** 期間延長には広域的な声となるよう検討し、県へ要望したい。



鳥獣被害防止のための防護柵

#### ◆有害鳥獣被害対策を

**問** 現在市境に防護柵が設置されシカ、イノシシが片丘東部山麓の農地に侵入することが予想される。優先して、防護柵の検討を。(青木)

**答** 従来の個体調整や緩衝帯整備等の強化をすともにも、有害鳥獣出没に併せた駆除・防止体制の強化を図りたい。

### 保育と学校教育の充実を 目指して

#### ◆改築規模の判断時期は

**問** 吉田原保育園の改築で来年度は概要設計の予定となっているが、定員、施設規模などの判断時期は。(鈴木)

**答** 平成24年度中をめどに、区画整理事業等完了による人口動態を確認。改めて入園児童数の推計、吉田原保育園、4月開園予定の吉田保育園の入園状況等を確認し適正規模を総合的に検討する。

#### ◆政府案は複雑な制度

**問** 公的保育の充実は多くの



子育て世代の願い。政府の子育て新システムは保育の産業化、児童福祉の視点を失う保育制度の激変が懸念されている。市の考えは。(鈴木)

**答** 国により、新システム創設へ検討が行われているが、幼・保一体化のあり方なども当初のものと変わってきており、子育て家庭にとって複雑な制度の感を受ける。子どもたちに望ましい保育、教育制度となるのか、不安を感じる点もあるのでは。市から見ると財源保障、国の所管の一本化の方向などの課題もある。

#### ◆学校教育の充実

**問** 今年両小野中学で実施されて高い効果が確認された通学合宿を、市内全中学校の1年生に拡大すべき。(宮田)

**答** 多くの児童生徒が参加できるよう、内容の充実を図る。



塩嶺体験学習の家